

# 御 挨拶

同門会会長 邊 見 達 彦

全国的に夏には台風や豪雨の来襲による被害が例年にも増してひどかったと感じておりますが同門の皆様方はお元気にお過ごしでしょうか。会員の皆様にはお見舞い申し上げます。

さて、新しい西良浩一整形外科学教室の発足と併せて同門会幹事も新しくなりそれから約1年間が経過しました。その1年間を振り返ってみたいと思います。

平成25年11月1日に西良教授が運動機能外科学教授(第五代整形外科学教授)に就任されすでに1年が過ぎました。私も平成25年12月7日湊省前会長を引き継ぎ第五代の会長として同門会のお世話をする立場になりました。

今年を振り返りますと、平成26年2月1日には西良浩一教授就任祝賀会が300人近い参加者をもって徳島グランヴィリオホテルで盛大に開催されました。日本整形外科学会からは菊地臣一福島県立医科大学理事長兼学長、高岸憲二群馬大学教授がお祝いに駆けつけていただき御祝辞をいただきました。徳島大学からも香川征学長はじめ多くの方から御祝辞をいただき、同門からは山本博司高知大学名誉教授、安井夏生徳島大学病院長からのお祝いと激励の言葉がありました。沢山のお客様をお迎えでき、お陰さまで成功裏に祝賀会を終えることができましたこと、ご協力いただいた同門会員の皆様には厚く御礼を申し上げます。

この祝賀会に先立つ臨時同門会幹事会、総会では平成26年3月に初期研修を終えられた6名を含めた7名の先生方の同門会入会が認められました。西良浩一教授就任の運動機能外科学教室(整形外科)に大きな希望をもつての教室入局と、併せての同門会入会と考えお喜び申し上げます。今後、研究、臨床に研鑽を積まれて将来の教室、同門会の大きな力になっていただけることを願っております。また、新教授就任に伴って医局スタッフ、関連病院の人事も行われました。功労のあった江川准教授が徳島県立中央病院に転任され、高橋講師も高松赤十字病院に転任となりました。そのあと、松浦先生が准教授に就任され

講師には鈴江先生と浜田先生が昇任されました。少ない陣容の中で地域医療充実をも考えられての強力な布陣を目指されたと推測します。

平成26年5月24日には第87回日本整形外科学会学術総会の開催の地神戸で、恒例の学会参加者による同門懇親会が開催されました。宿泊の確保しにくいなか、西良教授以下多数の会員が参加されました。東京からは当教室の非常勤講師の室伏由佳さんも参加していただきスポーツの話題も盛り上がっていました。さらに喜ばしいことに昭和33年入会の別所先生が82歳の高齢をおして駆けつけていただき乾杯の音頭をとっていただいた上に日本海側廻りの夜行列車の床に新聞紙を敷いて眠り北海道の学会に参加されたことなど懐かしい昔話を披露していただき本当に楽しい時間を過ごせました。これからも同門の先輩方には機会あるごとに積極的にご参加をいただき懐かしい同門、教室の話をお聞かせいただいたり、ベテランならではの御指導、アドバイスをいただければなお盛り上がり、楽しく求心性のある教室、同門会になると期待しております。

平成26年7月1日には教室に新たに西良教授の肝いりで寄付講座が開設されました。「脊椎・関節機能再建外科」です。ここには新しく酒井准教授、後東講師、高田講師が昇進就任されました。西良教授の力量を認識するとともにこのような職位新設は研究や臨床の努力が報われるチャンスが増えたことを意味し若い先生方もさぞがんばり甲斐のあることと喜んでおります。

このように教室、同門の一年を振り返っても大きな変化がありました。周囲の他科の先生方からも新しい整形外科教室への賛辞の声が絶えません。今後も西良教授を中心に活力のある研究、臨床を進めていただき私たち同門もそれに協力を惜しまない気持ちで外から若い研究者を支えていきたいと考えております。その結果、その人たちが将来関連病院のスタッフになりあるいはクリニックを持たれ同門会を支える立場になった時に、さらに若い研究者を同じように大切に育てるといふ同門会の自然な流れができれば良いだろうと考えながら何をすべきか考えています。

湊省前同門会長は常々おっしゃっておられました。

「徳島大学整形外科同門会は同門の親睦団体ではあるが徳島大学整形外科学教室との関連がその中心になります。教室の発展なくしては同門会の繁栄もありません。その観点からも同門会は可能な限り教室をサポートしてゆくように努力したいと思います。また、教室に在籍される先生方も同門の期待を感じながら日々精進していただければ幸いです。」

私もこの精神を引き継ぎ役目を務めたいと考えております。

今後も今まで以上に同門会活動への御参加とその中心となる教室の活動への積極的な御協力を重ねてお願い申し上げます。

寒さが次第に厳しくなっております。健康に気をつけられてお元気で楽しい新春を迎えられますことを願っております。